

# ピースクラブ通信

## No.60

発行 社会福祉法人 ピースクラブ  
 所在地 〒556-0014 大阪市浪速区大国一丁目十一番一号  
 連絡先 TEL 06-6664-7120 077  
 FAX 06-6664-7120 087  
 Eメール peaceclub@s2.dion.ne.jp  
 PURL http://www.ab.aunone-net.jp/~peace\_c/

### 聞き取りインタビュー(前)

聞き手 上村編集員  
 話し手 黒河内政行

今回は一人でも多くの人に、選挙に行ってもらおうと活動している「みんなで選挙☆ミナセン大阪」共同代表のパン屋の黒ちゃんに活動のこととお話を伺いました。

**Q1** 活動をするようになったきっかけはなんですか？

ある市会議員の人と知り合いになり「昨年、市議会の定例会を初めて見に行きました。その時、傍聴していたのは私をふくめて3人だけ、平日の昼間とはいえ、傍聴する人がほとんどいない現状に政治に関心

を持って人が少ないことを実感しました。しかし定例会で市役所に対して議員が質問、提案するのは、福祉や教育、文化など私たちに関わる様々な問題、課題です。政策や法律が変わればすぐに問題が解決するとは思えません。選挙に行くことで私たちの意思や考えを政治に反映させることができます。選挙に行く人が増えれば、様々な問題を解決するきっかけになるかもしれないと思います。ミナセン大阪の活動に参加するようになりしました。

**Q2** 政治に関心のある人が選挙に行けばいいのではないのでしょうか

政治というとテレビや新聞でつたえられるだけの遠い世界の出来事と感じる人は多いかもしれません。自分の生活とは特別に関係なさそうと思うのも当然だと思います。ですが政治は私たちの生活に関わる大きな枠組み(ルール)である法律や条例を作ったり、変えたりする場です。関心があってもなくても、私たちの生活に大きく関わることが国会や地方議会で決定してしまいます。関心を持たない自由もあると個人的には思いますが、自分たちの生活に大きく影響する国会や地方議会に代表者を送り出す選挙に、

**Q3** 候補者は有名人や見た目などで決めてもいいですか？また、人に頼まれた候補者に投票してもいいですか？

誰が誰にどんな理由で投票するのか、これは誰にも強制されてはいけない、選挙の大前提です。ですが、私たちの生活に大きく関わることを決める国会や地方議会に代表者を送り出すのが選挙なので、立候補者が、何を実現したいのか、今までどんなことをしてきたのか、その人の主張を見てほしいと思います。また立候補者の中にはそれぞれ政党という政治活動をするためのグループに入っている人も

多くの方が行ってほしいと思っています。

います。どの政党に入っているのか、また入っていない人もいますが、その政党や立候補者がどんな主張をしているのか調べてみるのも投票を考える大きな材料です。

自分や、周りの人たちが日々の生活で感じていること、こまっていること、ニュースで見ても疑問を感じたこと、それぞれの立候補者が、自分たちが直接関係することを主張している時もあります。どんな人たちが何を実現するために立候補しているのか調べることから、はじめてみてみてもいいかもしれません。ですが、



「一見、口当たりのいいことを言っているにも実際には主張とは正反対の法律や条例に賛成していることもありま

す。その立候補者が以前はどんなことを言っていたのか、そして何をしてきたのか少し手間ですが、調べると大きな判断材料になると思います。

### ピースクラブの織物

#### パート3

西谷昇くん(のん君)と

「さをり」

上田 友子

ゆりえちゃんと同時に始めた のん君の「さをり」は、まず作業の環境設定に一工夫必要でした。白雪姫プロジェクトの牧野純子さんの助言もあり、織機をのん君が常時拠点にしている4階の和室に運び上げました。

「人の動きや言葉に敏感に心が反応する感受性の

鋭い人なのだ。私も声のトーンを落として静かに語りかけよう。指示口調はタブーだ。言葉はポジティブに。ネガティブな言葉は絶対禁物。」と覚悟を決めました。

のん君は過去にも織っていたことがあるそうで、予め織機に張った経糸に、のん君の好きな緯糸を選んで織っていく。慣れた手つきです。初回は大西さんに付いてもらって調子よく織りすすみました。2回目は私ひとり、もう七分袖の季節、両腕に思いつき爪痕の洗礼を受けました。次回からは長袖で対応。それだけで爪立てはピタッと止まりました。

やがて、従来の織るだけの作業から一歩変化をつけることが可能になりました。次の段階は整経です。整経がスムーズに取り組みました。私は思わずノートに書き留めました。読み返してみると、非常に臨場感があるので、紹介してみます。

#### 《7月15日》

『ピースの会報に のん君の変化・進歩を伝えたいと考えていた。今日、今織っているのが完了するので整経をちよつとやってみようとおうと整経台を4階に提げていく。場所の設定も初体験だが、手伝ってもらおう。整経台に経糸をかけて一ヶ所だけ糸をひっかけるよう指示する。初体験の作業への不安と緊張から私の腕に爪を立てる。それは無視して「それでいいの、うまい、頭がいいね」と褒める。私の背中をすいと撫でる。実際手つきもよい。プツとおならをする。自分から「あかん」と言い出す。「大きな音がでたね」と会話を交わす。今後徐々に中身を増やしていこう。部屋から退出する時、たのしそうに「さようなら」と挨拶をしてくれる。』

のん君の可能性に私自身心を弾ませ、欲が出てきました。

#### 11月に入ってブックカバーを作ろうと予告して、新しい作品に取り掛かりました。箴通しもいっしょにしました。次に少し不安を抱えながら綜統通し。半分くらい通した所で「もう終わりにしようか」と尋ねると「もっとする」。予定時刻を過ぎて最後まで通し終えました。綜統の道具の使い方、糸の通し順、完全に理解した。のん君の個性にびったりの作業だと了解しました。

#### 《12月の情景》

緯糸を経糸に一段一段通して布を織りあげていくのですが、その道具を杼(ひ)といいます。勢いよく杼を経糸の間を走らせると、糸が必要以上にとび出し、織ったときに余った糸が端(耳)にだらりとぶらさがり、それが続くこともきかない。杼の糸を適正な長さにするために、杼の心棒を指でコロコロと巻き戻し

ます。「コロコロ」と声かけをしながら巻き戻し、のん君にそれを促しました。その動作がとてもお気に入り、自分で巻き戻す。それと同時に力をコントロールすることも覚えられました。「たのしいね」と声とともに表情も穏やか。織り端(耳)が一気に美しくなりました。

#### 《12月16日》

「今年は今日で終わりです。次は1月6日から、また来年もやろうね」と伝えると、後ろから両手を私の肩に置いて「ありがとう」と言ってくれました。



私が部屋を出るとき、心をこめて「さようなら」。私にとって幸せな日。

この日の5時からはずりえちゃんも綜統通しをほとんど自力で、最後までやりあげました。

《平成29年1月6日》

(私のノートから)

『新年早々の、のん君とのさりを、4階の部屋で機嫌よく迎え入れてくれた。普段は私の言葉に対するのん君の反応を計算しながら言葉かけをするのだが、うっかり気が緩んだのか、指示口調になつてしまった。自分の作業を否定されたと思つたのだろう、途端にのん君は怒り出し、盛んに私の腕をつねってきて興奮します。月3回、1時間弱の短期間の付き合いで、のん君とそんなに深い信頼関係が形成された筈がない。思ひ上がりすぎたと大いに後悔、反省する。次回どのような状況になるか不安になつた。』

次の週キジムナーで窓越

しにのん君と視線が合った時、両手を合わせてにこやかに挨拶してくれました。途端に軽やかな気分になれました。織りあがった反物でブックカバーを仕立てました。只今、次の作品に取りかかり、2作目の綜統通しが終わったところです。

# 与太郎の 与太郎

毅が販売中、寝ません。網膜剥離の手術から復活。

以前より目が見えるようになったのか？やたら語りたがる。与太のパン販売には、なぜか？もれなく毅が付いてくる。お客さまがめつたにこない売り場、毅は与太とダベリたいのか？横でなにやら騒いでおりました。今日もお決まりの誰もいない時ワ〜ワ〜（呼び込みだと思われる）を「誰かおらん？毅目見えるようになったん

ちやうんかい？もつとまじめにやれ！」と与太が一喝。毅は、「ハイ〜！ハイ〜！ハイ〜！」「ハイとイヤだけは、やたらはつきり聞き取れる）ハイがなかなか止まりません。与太「わかった！わかったから、ハイは一回でよろしい」一連行事の後、しばし沈黙、そして毅は必殺技「ウラメシ光線ネチネチ」を与太に向けて力マすのであります。

毅がなにやら訴えている。そんな、今は…アカンアカン、ここは気付かないふりを決め込もう。さあ販売に集中や、売り上げアップ！売上げアップやで〜！販売や！販売…。以前ならこの時点で毅の元に天使たちが舞い降りて眠りの世界へと導いてくれておりました。今も時折現れてくれる天使たち。しかしこの日は降りて来なかつた…。今まさに何処までも諦めない、怖いくらい執念深〜い、毅によるそれは恐ろしい怒涛の巻き返

しが始まるうとしていいる。ウラメシ光線ネチネチに加え、「私は不当な放置を受けてます」と世の方々々に訴えているとも、取られ兼ねないなんとも脅迫した最終兵器「ワッテンノカ音波フ〜ウ〜」を発するのであります。

これはヤバイ…。気付かないふりを決め込む訳にもいかず与太は白旗を掲げ「毅様、なんか与太に訴えてまっか？」ニッコリうなずく毅でありました。

毅にはコテコテ過ぎる言語障害がある。すべて聞き取るのは不可能に近い。聞き手には毅のために止まる時間の確保、忍耐力、集中力、そして想像力等々必要となる。簡単な単語なら、なんとなく聞き取ることができるところもある。聞き取れた単語をポイントに与太は毅に質問攻めをして会話を導いて行かなければならない。もちろん毅の集中力が会話

中途切れ、会話自体なかつたかのように、ごまかし、はぐらかす毅の態度にキレることもしばしばある。この日何を言っても毅は首を横に降るばかりでありました。困った与太は最終的に「なんなん毅！お前もしかして暇なだけちやうんか？暇やら俺の相手しろ！てか？」毅の野郎これに受けたのか？凶星だったのか？天向いてそれはワルそくな顔で何度もうなずき、そしておもいっきり笑いやがった。

お客さまがめつたに来ない売り場、これが永遠に繰り返



されるのであります。PS、ある日の販売中、毅の言葉で最近マンザイという単語が聞き取れた。販売中に漫才はないと思ったが、もしやと思った与太はM1の話題を毅にふって見た。それはもう満面の笑みで喜んだ。初めて与太のなかで毅が漫才が好きだと判明した。まだまだ与太的に知られざる毅の脳裏、日々振り回され邪魔クサク！と言いつつも、毅の「ナニヤラ」をたまくにでも発見できればと思う今日この頃なのであります。

# 春さん便り

大西 洋子

春さん、寝たきりになって、もつともつといい人になってる。時々指談で確認するのだけれど悪いことは言わな

い。いつも人に優しい。マイナス思考っていうのがない。時々、私の愚痴や頼み事に呆れながらも、大丈夫って目で合図を送ってくれる。いつもバタバタ、その場その場で大変な私に呆れながらも支えてくれている。介護でバタバタ仕事でバタバタ人間関係でバタバタ、力量オーバー。ピースの障害者の仲間のことでもいつも心配事がある。ドーンと春さんがおるとで、どんだけ助かっているか。今も春さんの痰が詰まるので起こされているんだけど、色んなこと考えて眠れなくなっているんだけど、痰をとりながら心は落ち着いてきた。不思議だな。

今回、久しぶりに宮古島へ出かける。2泊3日。直行便があるので3年前より楽かと思ふ。春さんの回復度と今の春さんの言葉を宮古の人

たちに見てもらおうと思っている。意識がない。言葉がない人が脳幹を通して話すのを宮古の人というか沖縄の人たちにはヒントになるのではないかと思う。春さんは「仕事で行く」って言い切った。そうか春さんの今の状態の役割なんだね。うれしい。そんな春さんと色んな体験が出来て。どんな人にも意思はあるし、どんな人とも理解するためのいろんなことを体験してきたけど、はっきり春さんの言葉として聞いたとき、魂が震えた。指談に対してイヤに思う人もいるけど、私は革命だと思っている。

い方がいいんだと思う。そんなこんなだけど、こんなことを経験したら、どんな正直になる。心の中にためるものがなくなると裏表がない。良い子ちゃんぶっていられない。今回の旅は共同連メンバーの古い友達が皆いっしょなんです。接点があればそれもおもしろい。沖縄の状況、宮古の状況、アメリカのランプ、阿倍、とんでもない状況だけど人間というか自然の本質がひっくり返してくるんやろうねえ。罰あたるで！人間の底力を皆に見てもらおうと思う。



## ◆ ◆ お知らせ ◆ ◆

3月より喫茶キジムナーは、土曜日を当分の間、お休みさせていただきます。営業日は、平日のみとなります。尚、土曜日はパーティーなどの貸切での使用を目的と致しますので、皆さんからのご予約をお待ちしております。

### ◎今後のスケジュール◎

3月11日(土)18時～「飯館村には帰れるのか…」 ピースクラブ4階ホール 参加費500円